



【2018-08-22】

遊道楽歩（雑感）

書を友に、酒を楽しみ、
人生を味わう

雑感

『経営数字は、なぜバーチャルな世界になる』

長野修二

経営数字は、なぜバーチャルな世界になる

どうも金融が発達してくると、バーチャルな世界になるようです。理由は理解できます。数字は簡単に作れるからです。

多くの経営者が金融ビジネスの餌食になっています。株価をどのようにあげるかということに専念するからでしょうか。日本企業の業績が好調ですが、その理由も気になるところです。どのように考えても、その理由の第一は「円安」、第二の理由は「賃金」ではないでしょうか。

利益水準は過去最高になっていますが、生活者の賃金はやっこのごろ実質賃金の上昇がみられるようになっただけであり、それも人口減少による労働者確保の競争が激化している大都市圏を中心としたもののようです。

そもそもグローバルな経済情勢の中でどこまで賃金が上昇するかは不透明です。

世界に展開している企業では円安によって利益を上げることができていますが、またそのおかげで「賃上げ」も可能となっています。

他方、国内企業からみれば、国内消費の改善は延々と進まず非常に厳しい環境にあるようです。

上場企業の場合、当然ですが、有価証券報告書によって経営数字が開示されます。

有価証券報告書は、簡単に言えば社長の通信簿です。

財務諸表をいかによく見せるかが、腕の見せ所でしょうか。

経営数字は、経営者や管理職が指示するだけで見栄えがよくなる光景をみてきました。

簡単に言えば、数字を操作するのですが、このようなことは私の時代にはしばしば見ることがありました。

昔風に言えば、粉飾ですが、現在粉飾することはかなりむずかしくなっており、それに代わって行われているのは、おそらくコスト削減におけるあらゆる指示でしょうか。

しかももっとも理由をつけた指示です。

なかには、違法な方法を放置（不作為）することで長年継続され

ているようなこともあります。

この手の方法は、メディアで報道されているところです。

他方、メディアで報道されなくともおこなわれているのが、徹底すぎるコスト削減でしょうか。

これは経営者や管理職にすれば、いとも簡単に適法に指示がだせるからです。

しかも問題が発生した場合も自らに問題があがっておらなければ、違法性を回避することができます。

このような指示を経営者や管理職がしておれば、経営数字はバーチャルな世界そのものです。

この手の操作は多くあるように思われます。

理由は、ある日企業において突然大きな問題が発生するからです。問題が起こった場合は報道されますから比較的簡単にわかるのではないのでしょうか。

それでも金融証券取引法で処罰されるようなことはありません。

この手の手法（経営）は、あくまで問題が発生するまで株主が喜ぶきれいな経営数字が並びます。

経営数字のバーチャル化は、現場をないがしろにすることからはじまります。

経営者や管理職は、現場をみるほど多くのコストが発生することははじめからわかっているからです。

数字至上主義は、このようにして浸透していきます。

現場に話を聞けば、すぐに答えはわかります。

現場を大事にすればするほどリアルな経営数字は、悪化するでしょう。

それが現代のビジネスの現実かもわかりません。

現場だけは、真実を知っています。

